

若草の子

一人一人の子どもが主語になる学校

令和7年度 苫小牧市立若草小学校 学校だより
令和7年10月31日発行 NO. 8

○学校教育目標

考える子 思いやりのある子
やりぬく子 元気な子

○若草小学校の合言葉 みんなで みんなを！

しっかり寝ていますか？

校長 荒木 英 弥

特別支援学校等の児童生徒の増加の状況(H25→R5)

○ 少子化により、直近10年間で義務教育段階の児童生徒数は1割減少する一方で、特別支援教育に関する保護者等の理解や認識の深まりなどにより特別支援教育を受ける児童生徒数は倍増している。

義務教育段階の全児童生徒数

(平成25年度) 1,030万人
(令和5年度) 941万人

0.9倍

特別支援教育を受ける児童生徒数

32.0万人 3.1%
65.4万人 7.0%

2.0倍

特別支援学校

視覚障害 聴覚障害 知的障害
肢体不自由 病弱・身体虚弱

6.7万人 0.7%
8.5万人 0.9%

1.3倍

小学校・中学校

特別支援学級
知的障害 肢体不自由
身体虚弱 弱視 難聴
言語障害 自閉症・情緒障害

17.5万人 2.0%
37.3万人 4.0%

2.1倍

通常の学級(通級による指導)
言語障害 自閉症・情緒障害
弱視 難聴 学習障害
注意欠陥多動性障害
肢体不自由 病弱・身体虚弱

7.8万人 1.0%
19.6万人 2.1%
(注)

2.5倍

忘れ物が多い子、ぼーっとしてしまう子、すぐに友達とトラブルになる子、「ちゃんとしなさい」と叱られる子・・・学級には、様々な子どもがいます。

さて、右の図は文部科学省が示している「特別支援教育を受ける子どもの推移」です。令和5年度の資料ですが、義務教育段階(小中学生)の総数はこの10年で100万人近く減っているのに、特別支援教育を受ける子どもの数は約2倍に増えていることが分かります。つまり、特別支援学級や通級指導を受ける子どもたちが、激増しているのです。

これは「発達障害」(注意欠如・多動症、自閉スペクトラム症、学習障害、コミュニケーション障害など)に対する保護者や地域の方の理解が進んでいることが一因と言われています。しかしながら、理解が進んだだけでこれほど急増するでしょうか？

小児科医の成田奈緒子氏は、著書の中で次のように話しています。

「発達障害」という言葉が広まった結果、大人が理解できない子、大人の期待どおりに育っていない子、扱いづらい子などが「発達障害」でなはいかと疑われているのではないのでしょうか。小児科医として子どもたちをみてきた私には、「発達障害」のような症状が現れているけれども、ほかに原因がある子どもが多いように思えてならないのです。(中略) 「子どもが『発達障害』と疑われたときに読む本」成田奈緒子著

著者によると、医学的には発達障害の診断がつかないのに、発達障害と見分けがつかない症状が増えているほかの原因は、明らかだそうです。それは「生活リズムの乱れ」です。

先日、精神科医 佐々木彰氏の講演会に参加しました。テーマは「児童精神科医療の現場でおきていること」。講師からは、小学校段階で、学校にいけない子、特別な支援を要する子(発達障害のような子)、暴れる子やキレる子、自殺する子が増えている。不登校や情緒に問題がある子に大人ができることは、子どもの「生活リズムを整えること」であると話されていました。

二人が口をそろえていっていることは、「生活リズムを整えることの大切さ」。とりわけ、決まった時間に寝ること・起きること、スマホ・ゲームを寝床に持ち込まないことなど、睡眠の質と量を確保することの重要性を強調していました。最近、お子さんがイライラしている、乱暴な言動が増えたなどの様子は見られませんか？ それは、生活の乱れ、睡眠不足が引き起こしているのかもしれません。

【11月の行事予定】

2日(日) ノーゲームデー

3日(月) 文化の日

4日(火) 家庭学習がんばろう週間(～14日)

5日(水) 東中学校体験入学(6年)

小中交流レク(5年)

1～4年4時間授業

6日(木) フッ化物洗口

認知症キッズサポーター養成講座(5年)

7日(金) 美術博物館学習(4年)

10日(月) 児童会

12日(水) 人権教室(4年)

13日(木) フッ化物洗口 福祉の学習(5年)

第4回 PTA 役員会

17日(月) 児童会

18日(火) 租税教室(6年)

19日(水) 2年参観日(科学センター出前授業)

PTA2年清掃ボランティア

20日(木) フッ化物洗口 福祉の学習(3年)

21日(金) 短縮5時間日課

エリア会議

23日(日) 勤労感謝の日

24日(月) 振替休日

26日(水) 総合経済高校生特別授業「子どもの権利条約」(6年)

27日(木) フッ化物洗口

5年参観日(カルビー出前授業)

PTA5年清掃ボランティア

※11月の帰宅時刻は、16時

【後期児童会活動開始】

10月3日（金）、校長室にて後期児童会の任命式を行いました。

後期も楽しい企画をしてくれることを期待しています



【笑顔あふれる発表会】

10月18日（土）、若草小学校の学習発表会を行い、たくさんの方々に御観覧いただきました。子どもたちが主役となり、協力し合いながら創り上げた発表会でした。保護者・地域の皆様の応援、大きな拍手など、ありがとうございました。

【いじめアンケートから】

今年度第2回目のいじめアンケートを実施しました。4月からこれまでいやな思いをしたことがある、または、見たり聞いたりしたことがあるという件数は、93件。その中から12件をいじめと認知しました。

若草小学校では、児童一人一人に担任が中心に話を聞くとともに、組織的な解決に努めています。また、本校の「いじめ防止基本方針」について、子ども達に理解を深めてほしいという願いから、子ども向けの掲示物「若草小学校いじめ防止基本方針」を作成し、教室に掲示しました。御家庭でも、折にふれて、「いじめは許されないこと」「人を大切にすることの大切さ」など話題にしていれば幸いです。学校・家庭・地域がともに子どもたちを支援していくことが必要です。よろしくお願いいたします。

【おめでとうございます】

- ◇第7回 MGC 三菱ガス化学アイスアリーナトロフィー
初級クラス女子 第1位 上畑 凜々禾さん
- ◇第17回北海道出光こどもお絵かきコンテスト 2025
優秀賞 2年 佐藤 陽菜さん

【情報機器とのかかわり方について】再度確認を！

情報機器 利用の約束

情報機器利用の約束を子供と一緒に作り守らせることは、情報機器を与えたり使用を許可したりした**保護者の責務**です。
利用の約束は、子供たちが健全に安心して生活できる環境を整えるために、家庭における約束づくりの指針となるものです。

約束の決め方は？親子の話し合い
利用の約束は、**親子で話し合っ**て決め、**徹底**します。

必ず設定！フィルタリング
保護者は、**必ずフィルタリングを設定**します。

必ず決めよう！利用時間
利用時間の目安は、**1日当たり1時間程度**です。

必ず決めよう！利用場所
利用場所は、**保護者の目の届く場所**です。

苫小牧市PTA連合会・苫小牧市教育委員会

情報機器 利用の約束 を定めました

子供たちのスマホ等、情報機器の使い方に問題意識を抱えている家庭が多くなっています。そこで、苫小牧市PTA連合会と苫小牧市教育委員会の共作で、家庭での約束づくりに向けた指針を作成しました。
次の視点を参考に、各家庭で利用の約束をつくりましょう。

令和6年3月
苫小牧市PTA連合会会長 佐藤 天亮
苫小牧市教育委員会教育長 福原 功

約束の決め方は？親子の話し合い
「子供だけでは、約束をつくれぬ」。市内中学生の言葉です。**親子で話し合っ**て具体的な約束をつくりましょう。つくった約束は、保護者が適切に見守り、**徹底**します。もし約束を守れなかったらどうするか決めておくこともよいです。また、子供の成長に伴って1日の時間の使い方が変化し、決めた約束が適さなくなることがあります。その場合は、再度親子で話し合っ

必ず設定！フィルタリング
情報機器使用による犯罪に多くの子供たちが巻き込まれています。警察庁の調査では、「犯罪に巻き込まれた子供の9割以上がフィルタリングを設定していなかった」との結果がでました。子供に情報機器を使用させる際には、保護者が**必ずフィルタリングを設定**し、それが自分を守ることにすると理解させましょう。

必ず決めよう！利用時間
インターネット依存が、社会問題となっています。厚生労働省研究班の調査では、「中高生の約4割がインターネット依存の疑い及び予備軍である」との結果がでました。小・中学生のうちに、適度な利用時間を決めて使用することが大切です。利用時間は、**1日当たり1時間程度**を目安にしましょう。

必ず決めよう！利用場所
インターネットを使用する場所に保護者がいると、子供の自制心が高まり、SNS等への不適切な書き込みや不適切なサイトの利用を未然に防ぐことが期待できます。利用場所は、**リビングなど保護者の目の届く場所**にしましょう。

11月

「親子で夢読書」強調月間

～親子いっしょに、同じ時間に、同じ場所で～

苫小牧市教育委員会・苫小牧市立中央図書館

◆先日「千歳市の中学校教師が盗撮画像共有事件で逮捕」されました。

保護者の皆様には、心配や不安な気持ちをお持ちになった方も多かったのではないのでしょうか。本校では、そのようなことを「絶対起こさない」「起こさせない」ための研修会はもちろん、継続した校内点検等を行っております。心配・不安等あれば、遠慮なく校長・教頭へ連絡をお願いいたします。